

2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	いっばんしゃだんほうじんおかやませいしんいりょうアドボケイトセンター	
団体名	一般社団法人 おかやま精神医療アドボケイトセンター	
代表者名	岡本 由美	
連絡先	住所	岡山市南区福成 3 丁目 6-22
	TEL	070-4389-3737
	E-mail	info@okayama-advocate.org
	URL	https://okayama-advocate.org/
設立年（西暦）	2022 年	
助成活動名	精神科病院へ入院する方へのアドボケイト活動	
助成額	80万 円	
活動内容	目的	日本の精神科病院は、世界的に見ても入院者数が極めて多く、半数近くが非自発的入院である。身体拘束・隔離などの行動制限も増加する日本の精神科医療の現状は、2022 年 9 月にも国連障害者の権利に関する委員会から、精神障害者の強制入院や強制治療を正当化するすべての法的条項の廃止を勧告された。精神科病院へ入院している方は、閉鎖的な環境の中で、意見があっても自らの力だけでは意思表示すらできにくい環境にある。そのため、当団体は、精神科医療におけるアドボケイト活動を行い、入院患者の意思表示の機会の保障を行うこと、その一歩から権利擁護をすすめていくことを目的に活動を開始した。
	内容	アドボケイト活動が実施できる人材を養成し、派遣しバックアップしていくための基盤を作り、より多くの方へ精神科医療の現状について関心を持ってもらう機会を創出し、精神科病院へ入院している方が、気軽に相談できる電話相談、希望に応じて病院訪問を行うアドボケイト活動につながるための法人組織体制整備、事務局整備、各関係機関への働きかけを行う。
	成果	<p>(1) 精神科アドボケイトの養成・登録・派遣・フォロー・バックアップ活動 令和 5 年 4 月 23 日に、精神科医、精神保健福祉士、社会福祉士、精神科医療体験者、弁護士、税理士、社会保険労務士等の運営に携わるスタッフによるプレ研修を実施した。プレ研修では、精神科アドボケイト養成研修のカリキュラムを実際にスタッフが受講し、本番の研修内容のための意見交換と改善点の整理を行った。</p> <p>(2) 関係機関とのネットワーク構築と連携 月に 1 回（計 12 回）の定期的な運営会議を実施し、関係各団体への活動に対する普及啓発を円滑に行えるための準備等の事前相談を行った。特に訪問先である精神科病院との円滑な連携が重要であるため、各精神科病院に対する説明会の企画や内容の準備を実施した。</p> <p>(3) 精神科医療に関する調査・研究・提言 アドボケイト訪問開始後に、入院者からのアンケートを配布し、そのアンケートをもとにアドボケイト活動の効果や影響を調査する計画とした。しかし任意のアンケートであることから回収率が低く、その内容についての評価分析は母数が少ないため難しかったため、内容を読み、感想を整理する形となった。</p> <p>(4) アドボケイトについての普及活動 各職能団体（岡山県精神保健福祉士協会、岡山県社会福祉士会、福祉オンブズマンおかやま等）に研修や活動説明を行った。関係者のみならず、多くの地域住民がこの問題に関心を持つ機会の提供となった。</p>

今後の課題と対応策

令和5年度は精神科アドボケイトが養成できる団体としての組織体制の整備、事務局体制の整備に加えて実際に研修を実施し実際のアドボケイト活動を一定数開始することができた。岡山市内における精神科病院や各関係機関においては、その活動の意義や必要性について普及啓発を行うことができています。一方で岡山市以外の地域への活動については、十分には実施できておらず、引き続き令和6年度の実施計画に組み込んでいる。また、岡山県内における精神科医療アドボケイト活動は全国的に見ても先行例として注目を浴びているが、その効果や意義についての調査研究については取り組みが不十分である。令和6年度においては、本活動を岡山県内すべての地域において展開するための体制整備を継続するとともに、岡山市・県がモデル地域となり、他府県でも同活動が普及・展開できるための連携や協力・人材提供を行い、全国のネットワーク構築にもつなげる。



写真の提出

